

「核兵器禁止条約」の批准を求める意見書 趣旨採択

常陸大宮市議会へ、「ヒバクシャ署名常陸大宮連絡会」が提出！



常陸大宮市議会に出した「核兵器禁止条約の批准を求める意見書」は、12月議会で「趣旨採択」されました。4名の紹介議員を得て「請願」しました。このように紹介議員が多かったのは初めてです。採決では5人の議員が採択に賛成。内1人は討論にも参加しました。「請願」は地域で共同運動をしている「ヒバクシャ署名常陸大宮連絡会」が提出しました。

「議員を訪問して要請する運動」を進めることは重要・・・



市は「非核平和都市宣言」をしていますので、この文章を議員に配布し「市議会はこのように言っている。だから反対する理由は何もない」と訴えました。また、すべての議員に対して「紹介議員になってほしい」と、「ヒバクシャ署名」を持って訪問しました。署名は半数の議員が応じました。議員を訪問して要請する運動を積み上げることで、議員の動向が私たちの前に明らかになり

ました。議員を訪問して要請する運動は、これからどんどんやる必要があります。今回の訪問では、「ああだ、こうだ」言いながら数人の議員からは会ってもらえませんでした。

議会の総務委員会で説明を要請された時に、私たちは請願者として説明しました。紹介議員の4人のうち2人の議員も出席し、それぞれの質問についても堂々と答弁していました。

市議会が採択した「非核都市宣言」を、職員から議員に説明させる。

私たちが説明した後、今度は総務委員会の職員に「非核都市宣言」を説明させました。そうすると議員たちもどうすることもできません。そこで公明党の議員が「趣旨は大賛成だ」と言い出し、結局「趣旨採択」になりました。

議員訪問は過去に何度もやりました。戦争法反対の時には議員はもちろんですが、市内のお寺の住職全員を訪問しました。

3000万署名に平和委員会が率先して！

東海村平和委員会

目標は、他の団体に呼びかけて、7000筆集めること！



東海村平和の会では、東海駅で署名・宣伝活動をしています。駅の人通りは少なく、1時間間にせいぜい20人程度です。その中で、30歳くらいの女性が「朝鮮なんかは攻め滅ぼせばいいんだ」と言って来た。またかなり年配の女性が、署名に対して、文句を言って来たこともあった。

またホームに向かって演説をしていたら、若い男の子が「うるせー」などと怒鳴ってきたこともあった。北朝鮮の問題等を取り上

げると、反発が返ってくることもままある。そういう意味では、北朝鮮の問題が浸透していると思える。心理的に追い詰められている人もいることを認識することも必要などと感じました。

東海村では、3000万署名に平和委員会が率先して取り組むことになっています。他の団体にも呼びかけて、7000筆集めるというのが目標です。駅頭だけでは無理です。連帯して地域に出て、署名を進めようとしています。

福島を忘れない

3・11 stop 原発

茨城県南総行動 in 取手

とき 2018年3月11日(日)

13:30~15:30

ところ JR取手駅西口前ウエルネスパーク

再稼働に向かう東海第二原発。儲けの為には、国民の生命をも犠牲にする原発・エネルギー政策は転換せよ。国民共通の願いは「原発事故は2度とゴメン」だ！

内容 東電福島事故と被災地のその後
知られざる真相を語る

ジャーナリスト 西村一郎 さん

主催 反原発茨城県南総行動 in 取手実行委員会



～福島原発事故から7年～

ひとりひとりの脱原発



いのちを想い未来を 見つめるアクション

とき 2018年3月11日(日)

14:30~15:30

ところ 水戸駅南口 ペDESTリアンデッキ

内容 音楽メッセージ 想いを語るトーク 等

3.11、あの日から7年です。

今なお6万人を超える方々が避難生活を余儀なくされています。

私たちは福島から学び、未来を考え、「原発のない日本」「安心して暮らせる社会」を作りたいと思います。

主催 「3.11いのちを想い未来をみつめる
アクション2018」実行委員会

歓迎！新入会員のみなさんです。
よろしくお願ひします。

○ ** ** さん (鹿嶋市)

*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

平和新聞

2018年3月5日(月)

2162号 (毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 801
2018.3/5

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

3000万署名やってマース つくば平和の会から報告!

どんどん出て行って話をする、声を掛けることに尽きます!!



3000万署名に取り組んでいるつくば平和の会です。「取り組む側の姿勢で大きく違うなあ」と思います。平和の会、新婦人、9条の会、共産党などと連帯して進めています。「3の日行動」では、スタンディングをしています。同じように「9の日行動」、「19の日行動」もあります。それぞれにやっていますが、「どれかひとつ共同してやろう」という事になり、「9の日行動」を一緒にやることになりました。いつもは駅前で行っていましたが、今回は「一斉訪問活動」をすることになり、当日は集合して組みを作って進めました。

「まず声を掛けること」に尽きます。

当日は地図を用意して団地に入りました。呼び鈴を押した際「ちょっと待って」と言って出てくる人は、ほとんどが署名をしてくれました。政党のポスターなどを貼っている家庭でも遠慮なく訪問しましたが、多くは「そうだよ」「必要だよ」と言って署名に応じてくれました。こちらが外部を監察して、勝手に「ここはダメ」「ここは難しい」と思いこむ必要はないと思いました。やはり「声を掛けること」が必要です。

訪問した家に水道工事の人が来ていました。その人にも声を掛けました。「俺、つくばの方だけれどいいかな」というので「全国どこの人でも大丈夫ですよ」言って、内容を話したら、「そうだよ」と言って署名してくれました。

なかには断る人もいると思ったのですが、「今の安倍さんが今年中に進めている、いよいよ今年中に腹決をする。表向きの宣伝とは全く違う状況があるんだ」と話すと、「ああ、そうなの」という感じで、意外と署名に応じてくれます。

コンビニに働く娘さんにも……



帰りぎわに「のどが渴いたからコンビニに寄ろう」と思って、コンビニの娘さんに署名をお願いしたら「いま仕事をいるから後でいいかな」というので「ああ、いいですよ」と言うと、2人の娘さんが署名してくれました。「じゃあ、どうだろうか。署名用紙を持って行って、お父さんやお母さんに言ってくれない?」と言うと「これ、あとでどうすればいいの?」と言う。「この住所の所へ電話をかけてくれればいつでも取りに来るから」と言うと、2人とも署名用紙を受け取ってくれました。

難しく考えないで、
「戦争反対の署名ですけど……」とズバリ言う。

終了後、一緒に行った仲間が集まって報告を出し合いました。議員と組んだグループが意外に少なかったのです。「どうしてかな」と思って聞きました。そして「議員さんは難しい話をするからだ」という事が分かりました。

難しく考えないで「戦争反対の署名ですけど……」とズバリ言う。相手は「えっ 戦争反対の署名? なにそれ?」と言う感じで、話が噛み合ってきます。

ところが良く分かっている人は「安倍は、9条に3項を加えて……」などと始まる。すると説明が長くなる。説明しているうちに時間が立ち、寒くなり、手を懐に入れてしまう。議員さんとのグループは、2時間やったが2筆だけでした。一方は10筆とか20筆近く集めていました。みんなとやろうとする時、どんどん出て行って話をするという事は、非常に必要だと思います。

兄弟、姉妹など、親戚にも声を掛けました……

正月には何十年ぶりに姉を訪ねました。姉には子供が5人いましたが、それぞれが結婚しており、それぞれに孫がいました。その孫の中に「ひ孫」もいて、靴を置く場所もないくらい一杯でした。「正月だから叔父さんが話をしているかい?」と聞いたら素直に「いいよ」と言うので、署名の話をしました。そこにいた子どもたちに「中学生以上なら大丈夫だから……」と言ったら、そこにいた人たちが全部やってくれて、19筆になりました。孫とひ孫を入れて25人も集まっていました。「署名を持って行ってほしいかな」と頼んだら、何人かは「いいよ」と言って受け取ってくれました。そうすると親戚でもどんどん広がって行くような気がします。

3000万署名は、私たちの活動範囲を広げる大きな力になります

署名用紙は車に入れて、いつも持って歩いています。地域に出かけ訴えと、地域との新たなかわりが生まれ、楽しく感じます。3000万署名は、単に3000万署名ではなくて、自分たちの活動範囲を広げる大きな力になります。

憲法9条に「自衛隊」を書けば、国の中枢は「軍事!」

「国民投票になったらガンバル」

では遅いんです!

3000万署名の取り組みは、まだまだこれからです。茨城では12月に「オール茨城」が結成され、そこでも「70万筆」の集約を確認しました。「5月末まで」と期限を切った取り組みです。

自民党の憲法部会では、「3月25日までに成案を出す」といっています。この運動は他の運動と全く違います。改憲勢力に押し切られれば、日本の国のあり方が「ガラリ」とひっくり返ります。我々の経験したことのない社会が生まれます。憲法に自衛隊が書かれれば、国の中枢は「軍事」になります。軍人が必ず社会のいろいろな部門を占めてきます。他の省庁は憲法に書いてありません。「農水省は憲法何条にあります」という事はありません。自衛隊が憲法9条に書かれれば、それが国の政治を動かします。我々が経験しない世界が当然現れます。

国民投票法では、最低投票率の規定がありません。その上、お金さえあれば、マスコミを使った運動はやり放題です。私たちが「テレビで宣伝しよう」として、カンパを集め、「さて」と動いた時には、「すでにいっぱいです。放送枠はありません」という話もあり得ます。私たちの草の芽の運動で、「安倍9条改憲NO!」世論を作り上げ、発議を許さない取り組みがどうしても必要です。家族から、近所から、親戚から、できることから一歩を踏み出しましょう。

◀茨城県平和委員会▶

